



# 最後の戴帽式

10月5日(金)、当校最後の戴帽式が執り行われました。1年生21名の学生が副学校長よりナースキャップを戴きました。学生たちは、多くの方々から祝福を受け決意を新たに、看護師への第一歩を踏み出します。



10月5日(金)、創立111年の歴史をもつ富山赤十字看護専門学校において最後の戴帽式が行われました。厳かな雰囲気の中、ナースキャップを戴き、ナイチンゲール誓詞朗読、キャンドルサービスを行いました。最後の戴帽式だということもあり、これまで受け継がれてきた先輩方の想いと、緊張感を持って臨みました。

入学してから今日までの約半年間看護の知識や技術を学んできましたが、ナースキャップを戴いたときに、あらためて、私たちは看護師を目指す学生としてのスタートを切ったのだという自覚と責任を感じ、気持ちが引き締められました。

これからあと約2年半、多くのことを経験し学んでいきますが、この日に抱いた気持ちを忘れずに学習や実習に臨んでいきたいです。そして、私自身が思い描く理想の看護師像に近づけるよう努力していきたいです。

第69回生 岡田珠衣

